



平成28年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年10月14日

上場会社名 株式会社ライフフーズ 上場取引所 東  
 コード番号 3065 URL http://www.meshiya.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大平毅  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 兼執行役員管理本部長 (氏名) 松本邦泰 (TEL) 06(6338)8331  
 四半期報告書提出予定日 平成27年10月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第2四半期の業績 (平成27年3月1日～平成27年8月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第2四半期	6,590	3.4	219	△10.4	247	△8.1	164	31.5
27年2月期第2四半期	6,373	1.3	245	3.4	269	2.0	125	21.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第2四半期	10 75	—
27年2月期第2四半期	7 67	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第2四半期	6,447	3,781	58.6
27年2月期	6,641	3,640	54.8

(参考) 自己資本 28年2月期第2四半期 3,781百万円 27年2月期 3,640百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0 00	—	2 00	2 00
28年2月期	—	0 00	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	2 00	2 00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の業績予想 (平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,830	1.7	383	1.9	441	3.3	237	40.3	15 51

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無  
 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年2月期2Q	18,302,000株	27年2月期	18,302,000株
② 期末自己株式数	28年2月期2Q	3,003,174株	27年2月期	3,002,822株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年2月期2Q	15,298,899株	27年2月期2Q	16,300,134株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、中国経済の減速懸念材料があり、景気の先行きは不透明な状況があるものの、原油価格の下落や、訪日外国人の増加及び雇用・所得環境の改善等により個人消費の持ち直しもみられました。

外食産業におきましては、一部に消費者マインドの回復に明るい兆しがみられたものの、原材料価格及び人手不足による人件費の高騰など、厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社は、一汁三菜をコンセプトに、旬の素材を使った高品質とおいしさにこだわった低価格定食屋業態「街かど屋」を事業の柱として店舗展開を行っております。並行して、できたてメニューにこだわった「ザめしや」等の既存店舗の強化と、店舗開発及び不採算店舗の撤退を進めております。

また、各業態期間限定メニューを導入し、「ザめしや」では高級感のあるまぐろ漬けごはんと中落ちカルピのボン酢焼き等の鉄皿での販売、「街かど屋」では切り落とし牛塩タン定食やネバとろスタミナそば定食等の販売、「めしや食堂」では夏野菜カレー等の月替わりカレーの販売、「讃岐製麺」では肉ぶっかけフェアを実施し、すだちおろし肉ぶっかけうどんや山芋肉ぶっかけうどん等を販売いたしました。

当第2四半期累計期間の店舗展開につきましては、新規出店が2店舗で店舗数は124店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、既存店売上高の増加による影響で、売上高は6,590,067千円（前年同四半期比 3.4%増）、営業利益は219,927千円（前年同四半期比 10.4%減）、経常利益は247,484千円（前年同四半期比 8.1%減）、四半期純利益は164,433千円（前年同四半期比 31.5%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産の部)

流動資産は、現金及び預金の減少等により3,531,580千円（前事業年度末は3,726,056千円）となりました。銀行からの資金調達を300,000千円実行いたしましたが、前事業年度末が金融機関の休日のため買掛金等の支払いが翌月に繰り越されたことによるものであります。有形固定資産は、既存店舗の減価償却が進みましたが、新規出店・店舗改装の設備投資により1,525,233千円（前事業年度末は1,519,096千円）、投資その他の資産は、差入保証金等の減少等により1,357,979千円（前事業年度末は1,362,006千円）となり、資産の部合計は、6,447,974千円（前事業年度末は6,641,932千円）となりました。

## (負債の部)

流動負債は、前事業年度末が金融機関の休日のため買掛金が291,408千円減少し、1,659,100千円（前事業年度末は2,232,746千円）となりました。固定負債は、長期借入金の増加等により1,007,488千円（前事業年度末は768,851千円）となり、負債の部合計は2,666,589千円（前事業年度末は3,001,598千円）となりました。

## (純資産の部)

純資産の部合計は、利益剰余金の増加等により3,781,385千円（前事業年度末は3,640,333千円）となりました。これにより、当第2四半期会計期間末の自己資本比率は58.6%（前事業年度末は54.8%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は前事業年度末に比べ104,808千円減少し、2,518,422千円となっております。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前事業年度末が金融機関の休日のため仕入債務が291,408千円減少したことや、非資金的費用として減価償却費85,749千円があったこと等により217,385千円の支出（前年同四半期は1,037,676千円の収入）となっております。

投資活動によるキャッシュ・フローは、預入期間が3ヶ月を超える定期預金の預入による支出500,000千円及び払戻による収入600,000千円、差入保証金の回収による収入26,119千円、新規出店及び店舗改装のための有形固定資産の取得による支出116,604千円があったこと等により、8,170千円の収入（前年同四半期は331,762千円の収入）となっております。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金142,432千円、割賦債務82,988千円の返済による支出等がありました。金融機関から長期借入による収入が300,000千円あったこと等により、104,405千円の収入（前年同四半期は271,096千円の支出）となっております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

「街かど屋」業態の新規出店と既存店売上高の回復を推進し、スクラップ&ビルドにより出・退店は新規出店8店舗、閉店2店舗で次期店舗数は128店舗を予定しております。

当期の見通しとしましては、売上高は12,830,556千円（前年同期比1.7%増）、営業利益は383,478千円（前年同期比1.9%増）、経常利益は441,048千円（前年同期比3.3%増）、当期純利益は237,433千円（前年同期比40.4%増）を見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計基準等の改正等に伴う会計方針の変更)

退職給付に関する会計基準等の適用

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率に変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期累計期間の期首の退職給付引当金が14,464千円減少、繰延税金資産が5,147千円減少、利益剰余金が9,316千円増加しております。

なお、この変更による当第2四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成27年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,223,231	3,018,422
売掛金	8,701	29,370
商品	293	283
原材料及び貯蔵品	52,680	49,578
繰延税金資産	93,607	96,150
その他	347,541	337,775
流動資産合計	3,726,056	3,531,580
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,351,411	1,346,074
その他	167,685	179,159
有形固定資産合計	1,519,096	1,525,233
無形固定資産	34,772	33,181
投資その他の資産		
差入保証金	997,849	975,861
繰延税金資産	228,481	257,308
その他	136,185	125,319
貸倒引当金	△510	△510
投資その他の資産合計	1,362,006	1,357,979
固定資産合計	2,915,875	2,916,393
資産合計	6,641,932	6,447,974
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	717,406	425,998
1年内償還予定の社債	30,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	184,092	123,713
未払法人税等	109,743	131,957
賞与引当金	118,180	116,661
その他	1,073,324	850,769
流動負債合計	2,232,746	1,659,100
固定負債		
長期借入金	7,141	225,087
長期預り保証金	113,442	113,800
退職給付引当金	356,922	360,808
その他の引当金	81,274	82,970
その他	210,071	224,821
固定負債合計	768,851	1,007,488
負債合計	3,001,598	2,666,589

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成27年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,838,526	1,838,526
資本剰余金	1,537,526	1,537,526
利益剰余金	419,945	561,097
自己株式	△155,664	△155,765
株主資本合計	3,640,333	3,781,385
純資産合計	3,640,333	3,781,385
負債純資産合計	6,641,932	6,447,974

## (2) 四半期損益計算書

## 第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
売上高	6,373,874	6,590,067
売上原価	1,984,276	2,076,825
売上総利益	4,389,597	4,513,241
販売費及び一般管理費	4,144,016	4,293,313
営業利益	245,580	219,927
営業外収益		
受取利息	2,660	2,654
受取家賃	85,765	90,268
その他	28,685	25,122
営業外収益合計	117,110	118,044
営業外費用		
支払利息	5,075	2,899
貸貸収入原価	81,527	86,359
転貸損失引当金繰入額	2,940	-
その他	3,847	1,229
営業外費用合計	93,390	90,488
経常利益	269,300	247,484
特別利益		
受取補償金	17,000	-
特別利益合計	17,000	-
特別損失		
有形固定資産売却損	537	-
有形固定資産除却損	8,005	6,080
減損損失	32,234	-
店舗閉鎖損失	-	217
その他	2,197	-
特別損失合計	42,975	6,297
税引前四半期純利益	243,325	241,186
法人税等	118,255	76,752
四半期純利益	125,069	164,433

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	243,325	241,186
減価償却費	89,165	85,749
減損損失	32,234	-
転貸損失引当金の増減額(△は減少)	2,250	△780
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,235	△1,518
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△123	18,350
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,793	2,475
受取利息及び受取配当金	△2,660	△2,654
支払利息及び社債利息	5,075	2,899
有形固定資産売却損益(△は益)	537	-
有形固定資産除却損	8,005	6,080
たな卸資産の増減額(△は増加)	3,955	3,112
仕入債務の増減額(△は減少)	468,192	△291,408
売上債権の増減額(△は増加)	△7,594	△20,669
未払消費税等の増減額(△は減少)	64,873	△94,523
その他の資産の増減額(△は増加)	△14,514	13,955
その他の負債の増減額(△は減少)	222,410	△91,697
その他	1,854	4,706
小計	1,115,544	△124,736
利息及び配当金の受取額	1,899	1,891
利息の支払額	△5,261	△2,964
法人税等の支払額	△74,504	△91,576
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,037,676	△217,385
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△200,000	△500,000
定期預金の払戻による収入	610,000	600,000
有形固定資産の取得による支出	△93,513	△116,604
有形固定資産の売却による収入	10	-
無形固定資産の取得による支出	△1,830	-
差入保証金の差入による支出	△18,849	△6,578
差入保証金の回収による収入	28,351	26,119
貸付金の回収による収入	7,593	7,983
その他	-	△2,750
投資活動によるキャッシュ・フロー	331,762	8,170

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	300,000
長期借入金の返済による支出	△215,092	△142,432
社債の償還による支出	△20,000	△20,000
セール・アンド・割賦バック取引に基づく 資産売却代金の受入額	57,026	82,308
割賦債務の返済による支出	△92,965	△82,988
自己株式の取得による支出	△64	△100
配当金の支払額	-	△32,381
財務活動によるキャッシュ・フロー	△271,096	104,405
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,098,342	△104,808
現金及び現金同等物の期首残高	2,223,318	2,623,231
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,321,661	2,518,422

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)

当社は、外食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期累計期間(自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)

当社は、外食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。